

## 歯茎は寿命の摂理なり

42

## 睡眠時無呼吸症候群の合併症②

文 井上玲奈

text by Rena Inoue

睡眠時無呼吸症候群（SAS）は多くの合併症を引き起こします。

中でも循環器疾患と密接な関係があります。SASの患者さんは循環器疾患で死亡するリスクはそうでない人の5・2倍高いという報告もあるほどです。

合併症でまず挙げられるのが「高血圧」です。

高血圧の多くは原因の分からない本態性高血圧ですが、原因がはっきりしている二次性高血圧の最も多い要因としてSASが挙げられています。高血圧の患者さんの30%にSASが認められ、SASの患者さんの50%に高血圧が認められるという報告があります。

高血圧の発症リスクは、SASの患者さんは健康人の1・4倍以上、中等度以上のSASの場合は2・9倍にもなります。

SASが何故高血圧の原因になるのでしょうか。本来寝ている間は副交感神経優位ですが、無呼吸状態から呼吸

を再開するとき、体は寝ていても脳が覚醒状態になり交感神経が亢進し血圧が上昇します。無呼吸→呼吸再開の繰り返

りにより、覚醒反応→交感神経活性化のサイクルが繰り返されると血圧上昇が継続することになります。

夜間に血圧低下が少ない、あるいは逆に昼間に比べて夜間に血圧上昇を示す場合では、夜間に血圧が低下する正常な場合と比較して心血管疾患のリスクが高いことも明らかになっています。

高血圧の治療はまず「食事療法」「運動療法」から取り組み、改善が見られなければ「薬物療法」を併用していきます。しかし薬物療法で血圧を十分にコントロール出来ない「治療抵抗性高血圧」という病態があります。利尿剤を含む3剤以上の降圧剤を適切に用いてもなお高圧目標にまで下がらない場合をいいます。その治療抵抗性高血圧とSASは80%もの高率で合併していると報告されています。

この場合、高血圧の改善のためには

SASの適切な治療をすることが必須になるのです。

高血圧は放置しておくとう動脈硬化となり、のちに狭心症や心筋梗塞、脳卒中などに繋がる恐れもあります。です

ので、高血圧の方はSASがあるかどうか、あれば適切な治療をする必要がとて大切なことです。

## Profile

日本大学歯学部卒業  
2004年 レナデンタルクリニック開設  
2008年 癒しと希望のデンタルサロン、レナ・レスポールを併設  
「お一人お一人の美と健康を生涯にわたってサポートする」ために日々診療に当たっています  
「噛み合わせを考える会」理事 「東京歯周治療研究会」主催  
レナデンタルクリニック  
〒104-0061 東京都中央区銀座7-11-11 長谷川ビル2F  
TEL:03-3573-8148

